

平成 28 年度第 3 回青森市子ども会議開催概要

- 1 日時 平成 28 年 6 月 5 日（日） 9 時 30 分～12 時 00 分
- 2 場所 青森市総合福祉センター2 階 集会室
- 3 出席者 平成 28 年度青森市子ども会議委員 19 名（欠席者 13 名）
平成 28 年度青森市子どもサポーター 0 名（欠席者 4 名）
青森市健康福祉審議会児童福祉専門分科会委員 1 名
事務局 4 名
- 4 活動内容
 - ・子どもの権利に関する学習会
（講師 青森市子どもの権利擁護委員 関谷 道夫 先生）
 - ・「(仮称) 青森市子どもの権利の保障に関する行動計画」についての意見聴取
 - ・ねぶた祭り参加時に着用する T シャツデザインの話し合い
- 5 開催概要



今回の会議の前半は、これから子どもの権利の普及啓発活動を行う子ども会議委員の皆さんに、子どもの権利への理解を深めてもらうため、青森市子どもの権利擁護委員の関谷道夫(せきやみちお)先生を講師にお招きし、子どもの権利に関する学習会を行いました。

はじめに、子ども会議を長年に渡って見守ってきた関谷先生から、「子ども会議では、新しい経験をたくさんして魅力的な人にたくさん出会います。視野が大きく広がり、努力すること、ものごとを達成する喜びを学びます。子ども会議を通して将来の夢や希望、未来を見つけてください。」と、ごあいさつがありました。

続いて、子どもたちの緊張をほぐすため、制限時間内にできるだけ多くの人と握手し、さらに握手をした相手の良いところを見つけ出して褒め合うというアイスブレイクゲームを行いました。子どもたちは、初めて行うこのゲームに若干恥ずかしがりながらも、「笑顔が素敵ですね。」「かわいい服ですね。」などお互いに褒め合いながら、たくさんの人と握手を交わしていました。



学習会では、子ども会議委員の身のまわりで起きた出来事や最近のニュースなどに触れ、子どもたちの身近な視点で子どもの権利に関する講義が行われました。子どもたちは、臨床心理士である関谷先生の心理学などを取り入れたお話をとても熱心に聴いていました。

休憩後には、今年度、青森市で策定を予定している「(仮称) 青森市子どもの権利の保障に関する行動計画」について、子ども会議委員から意見をもらいました。この行動計画は、子どもにと

って大切な権利（「安心して生きる権利」、「自分らしく生きる権利」、「豊かで健やかに育つ権利」、「意見を表明し参加する権利」）の保障を図るため、市の具体的な取組を定める計画です。

はじめに、事務局職員から計画内容について説明した後、

- ① 子どもの権利の普及啓発と学習支援
- ② 子どもの育ちへの支援
- ③ 保護者への支援
- ④ 子どもの命と安全を守る取組

の4点について、計画に記載されている取組の他にどのような取組をしたら良いと思うか、2グループに分かれて話し合ってもらいました。子どもたちは、市の計画と

いうあまり馴染みのない内容に、はじめは少し戸惑っている様子でしたが、高学年の子ども会議委員が中心となって話し合いを進めていき、一つひとつの質問に対し積極的に意見を出していました。

グループでの話し合いの後、各グループでまとめた意見を代表者1名から発表してもらいました。子どもたちからは、「コミュニケーション能力を高めるために、小学生から高校生と教育に関わる大人だけが利用できる青森市だけのチャットがあれば良いと思う。」「使われていない公園を活用して、イベントなどを実施すれば良いと思う。」など、子どもの視点ならではの意見があり、全部で28件の意見をいただきました。今回出た意見は事務局で整理・検討し、計画に反映させたり、計画を実施時の参考とすることとしています。

会議の最後には、今年度の子ども会議 T シャツのデザインについての話し合いを行いました。子ども会議委員から提出してもらったデザイン案を参加した子どもたち全員に見てもらい、どのデザインが良いのか検討しました。

しかし、素敵なデザイン案が多く、また、「昨年度の T シャツのままが良い！」という意見もあり、子どもたちの意見はなかなか一致しませんでした。

結局、今年度の T シャツデザインについては、次回の子ども会議で最終決定することにし、今回の会議は終了しました。

次回の会議は、T シャツデザインの最終決定や、7月3日（日）に青森市浪岡総合公園で開催される「浪岡子どもの祭典」に参加し実施する「子どもの権利に関する出張普及啓発活動」について、PR方法などの話し合いなどを行う予定です。

